

帯広市市民提案型協働のまちづくり支援事業 **【Motto おび広がるプロジェクト】**

平成31年度（令和元年度）実施事業一覧

No	団体名	提案テーマ	事業の具体的な実施内容	補助金交付決定額
1	特定非営利活動法人子ども文化のひろば ぶれいおん・とかち	子どもと一緒に家族も成長する、プレイセンターにじっここの体制整備	【プレイセンターの毎週開催】 プレイセンターの活動に関する情報発信により参加希望者を募る。また、子育て支援への市民の関心や理解を深める。	200,000円
2	十勝健康麻雀集いの会	帯広から「ねんりんピック」の選手を輩出し街の活性化を図る	【帯広健康麻雀大会の開催】 全国で認知症予防として実施されている健康麻雀の大会を開催し、ねんりんピック健康麻雀種目への選手輩出を目指す。	100,000円
3	おかあさんのがっこう	おかあさんのがっこう	【月2回のおかあさんのがっこう開催】 孤独な子育てをなくすため、母親同士のつながり、支え合う場をつくることで、地域や社会を元気にする。	100,000円
4	とかち女性がん患者の集い プレシャス	美容ヘアメイクとドレスアップ撮影会の実施、ケア帽子の普及	【美に関するイベント開催と、手作りケア帽子の講習指導】 外見の変化で外出できないがん患者が、輝きと美しさ、自信を取り戻すための美容イベントを実施。 抗がん剤治療中の患者に手作りケア帽子を配布。	115,402円
5	AROMALL（アロマール）	アロマdeセルフケア～エッセンシャルオイルで毎日笑顔～	【アロマdeセルフケアの実施と訪問ボランティアの実施】 支援の手が届かない人に、エッセンシャルオイルによる心のケアを実施。	91,354円
6	ママととかちプロジェクト実行委員会	こそだてを ママライフを たのしもう！	【ママととかち2019の開催、起業ママの支援】 子育て中のママのため、育児・教育・健康などに関する情報・サービス提供を行うイベントを開催。中心市街地の活性化、各企業との連携による地元密着化と、ママと起業とのコラボによる新たな商品・特産物の発掘を目指す。	100,000円
7	TFS（とかちフレンドシップ）	十勝在住外国人生活環境改善事業	【外国人同士の交流イベント、外国人に十勝を知ってもらうためのイベントの実施】 十勝在住外国人に楽しい十勝ライフを提供することで、国際的な十勝の評価を向上させる。	200,000円
8	十勝デジラーの会	デジラー図書による十勝の歴史、文化、観光等の情報発信 障がい者及び市からの依頼による、デジラー図書及びテキスト文書の作成	【十勝に関するデジラー図書の作成・登録】 文章の音声データ化により、視覚障がい者に図書利用を広げる。	100,000円
9	どんぐりとやまねこ	どんぐりとやまねこ自然学校（福島の子どもと帯広の子どもの交流）	【自然学校の運営による子どもたちの交流】 被災した福島県の子どもたちと帯広市の子どもたちの交流機会を持ち、自然の大切さを学び、尊重する気持ちを育てる。	200,000円
10	十勝どさんこ女子会	Mottoおび広がる馬のいる街づくり ～流籠馬スポーツ競技における北海道和種馬（どさんこ）の魅力～	【北海道和種馬による流籠馬スポーツ競技のデモンストレーション】 流籠馬演技の披露により、ばん馬とは対照的などさんこの魅力を伝え、どさんこの保護・活用に関心を持ってもらう。 スポーツとしての流籠馬を帯広市で普及させる。	193,855円
11	がん患者・家族の支援会 enn（えん）	AYA世代に伝えたい「がんの正しい知識」がん教育	【月一回の、がんの勉強会】 AYA世代（若い世代、子育て世代）ががんに対する正しい知識と認識を持つための勉強会を開催。	200,000円
12	稲田まつりプロジェクト委員会	復活！稲田「新盆踊り」で稲田地区活性化！	【稲田まつりの復活で地域発展】 各企業との連携により途絶えてしまった稲田まつりを復活させ、地域住民、近隣の学校同士の交流を生む。	200,000円

【応募件数】16件 【採択件数】13件（部門別件数）組織育成部門 4件、まちづくり部門 9件 ※1団体辞退